

令和5年度 消費生活相談の概要

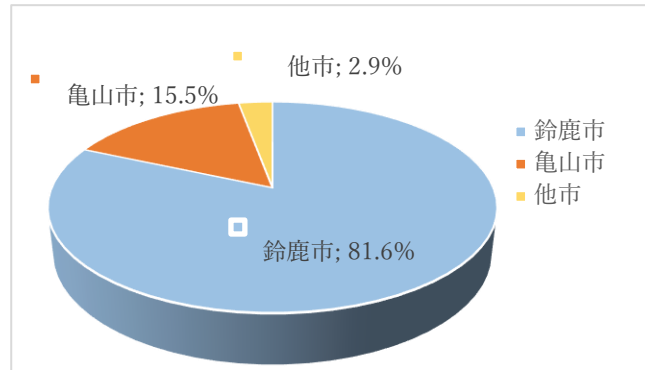
1. 相談の状況

○相談総件数

1,651件（138件／月）
前年度比99.9%、2件減少

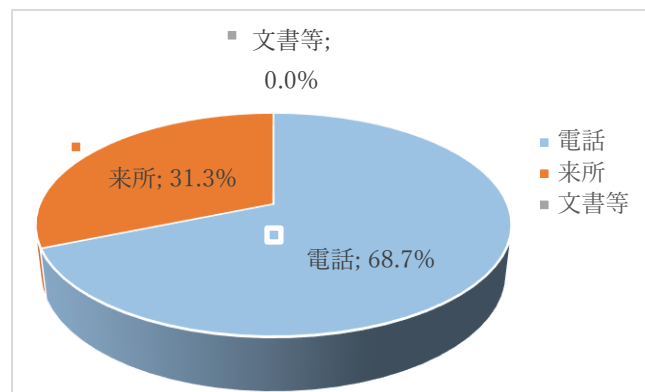
○相談者の住所別

鈴鹿市 1,347件
亀山市 256件
他市 48件



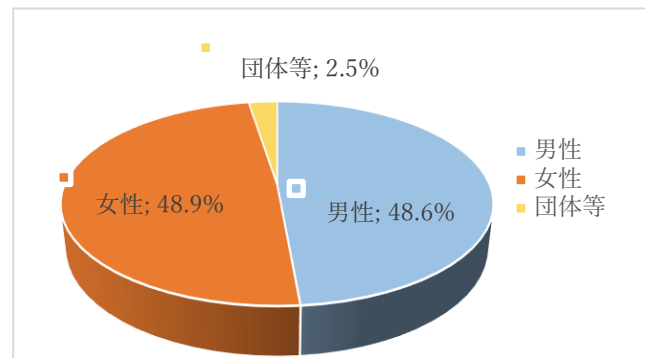
○相談方法別

電話による相談 1,135件
来所による相談 516件
文書等による相談 0件



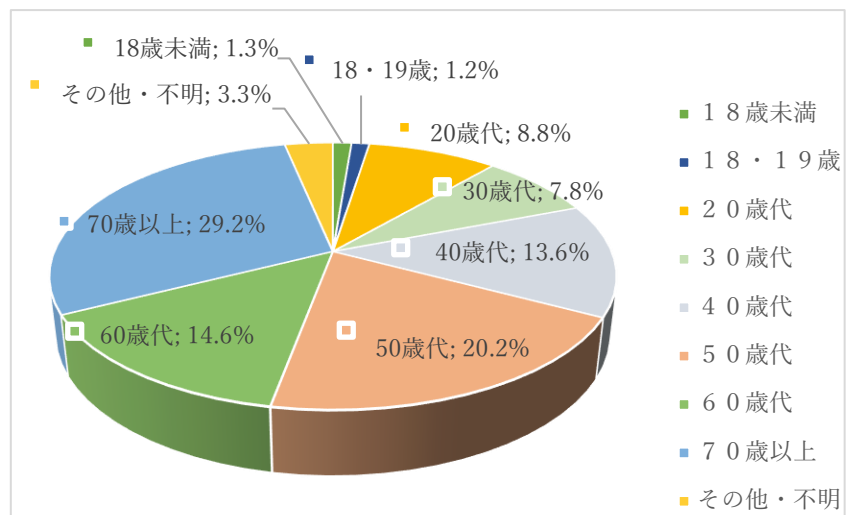
○性別

男性からの相談 802件
女性からの相談 807件
団体等からの相談 42件



○年代別

18歳未満 21件
18・19歳 20件
20歳代 146件
30歳代 129件
40歳代 225件
50歳代 333件
60歳代 241件
70歳以上 482件
その他・不明 54件



○弁護士相談件数

81件（前年度87件）

2. 相談の内容

○役務サービスに関する相談：319件（前年度327件）

- ・大手通信会社の関連会社と思われるところからの高額請求に関する相談
- ・インターネットによる動画の視聴における高額請求に関する相談
- ・訪問してきた事業者と締結した光回線契約の解約に関する相談
- ・光回線解約時に条件提示に合意して違約金が免除になった後の違約金請求及び勧誘に関する相談

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：183件（前年度155件）

- ・心当たりのない口座引落とし、商品や請求書に関する相談
- ・架空請求のハガキ・封書・SMSに関する相談
- ・知らない人からのメールにより金銭を要求されることに関する相談

○化粧品等に関する相談：131件（前年度156件）

- ・SNSやテレビショッピングサイト等でのお試し価格表示のある定期購入に関する相談
- ・期間の定めのない定期購入に係る解約手続に関する相談

3. 啓発活動

○出前講座実施状況

公民館教室、老人会、まちづくり協議会、サロン、地区社会福祉協議会、幼稚園、
小中高等学校等

鈴鹿市 56回（1,909人）

亀山市 13回（422人）

合計 69回（2,331人）